

SDGs の視点からの学習活動研究部会 研究活動記録

中間報告書 資料データ編 中学校

一般財団法人栃木県連合教育会

令和6年9月

SDGsの視点からの学習活動研究部会 アンケート回答結果

このアンケートは令和5年度に実施したものです。

県内の多くの学校、教員の方々、児童・生徒の皆さんからご回答いただきました。

この回答結果には質問項目すべてが入ってはおりません。回答頂いた学校や個人が特定されるおそれのある部分は省きました。また自由記述回答のうち回答数が多く掲載しきれないものは省きました。

- ・アンケート期間 令和5年6月13日～7月7日
- ・調査対象 県内小・中・高校・特別支援学校とその学校の教員、児童・生徒
- ・調査方法 高等学校はMicrosoft Forms、小・中学校はGoogle フォームを使用。
特別支援学校はGoogle フォームと質問用紙を使用。

[回答結果]

小学校

回答児童数 5,397名 回答教員数 534名 回答学校数 205校

中学校

回答生徒数 4,982名 回答教員数 184名 回答学校数 79校

高等学校

回答生徒数 1,482名 回答教員数 105名 回答学校数 29校

特別支援学校

回答児童生徒数 61名 回答教員数 30名 回答学校数 8校

合計児童生徒数 11,922名

合計教員数 852名

合計学校数 321校

※この結果についてのお問合せは下記にお願いいたします。

栃木県連合教育会 研究担当

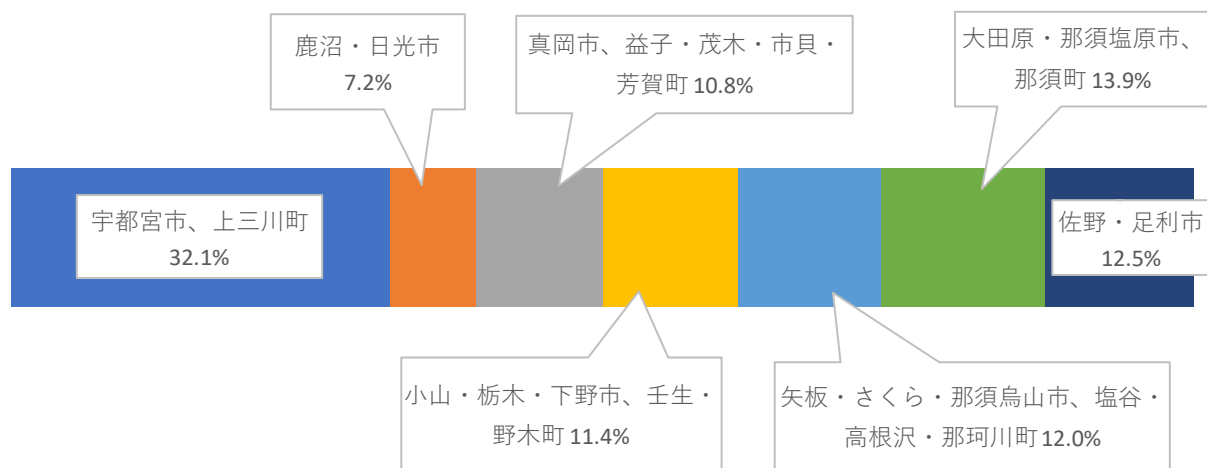
TEL 028-621-7216

Email kenkyu@tochigi.rk.jp

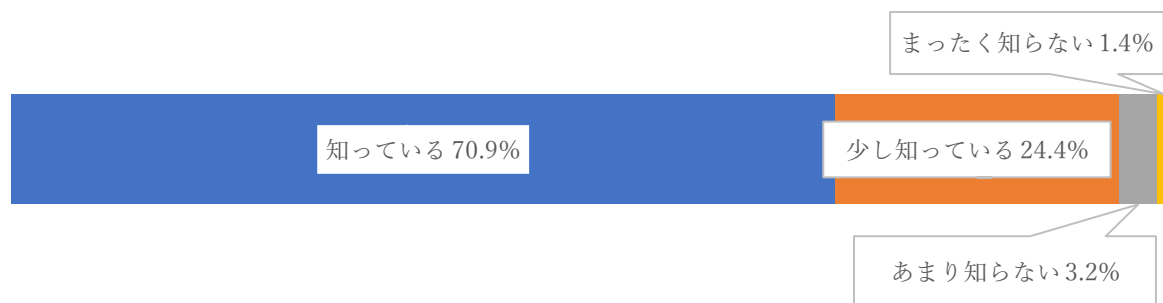
中学校 生徒 回答

回答生徒数 4,982 名

Q 1 あなたの学校のある市や町はどこですか。



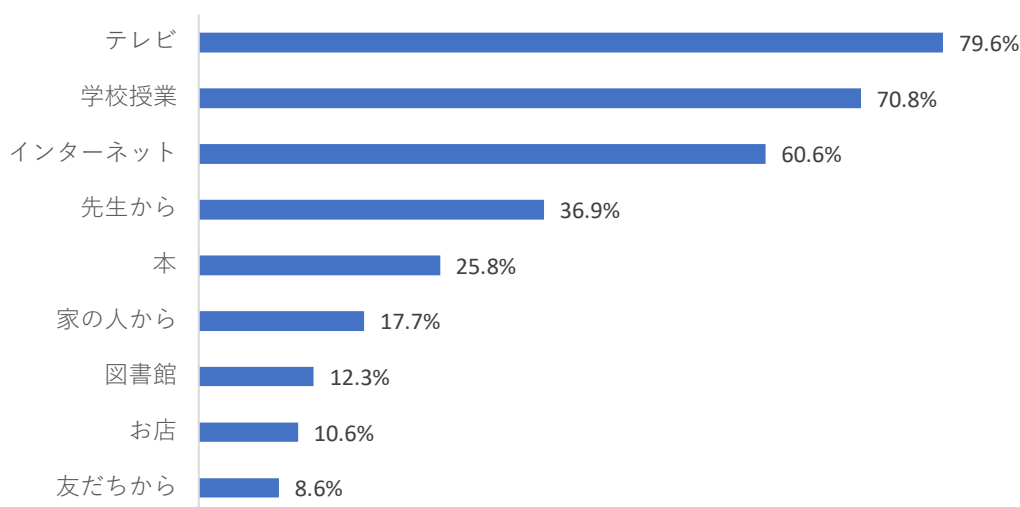
Q 2 「SDG s」という言葉を知っていますか。



資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

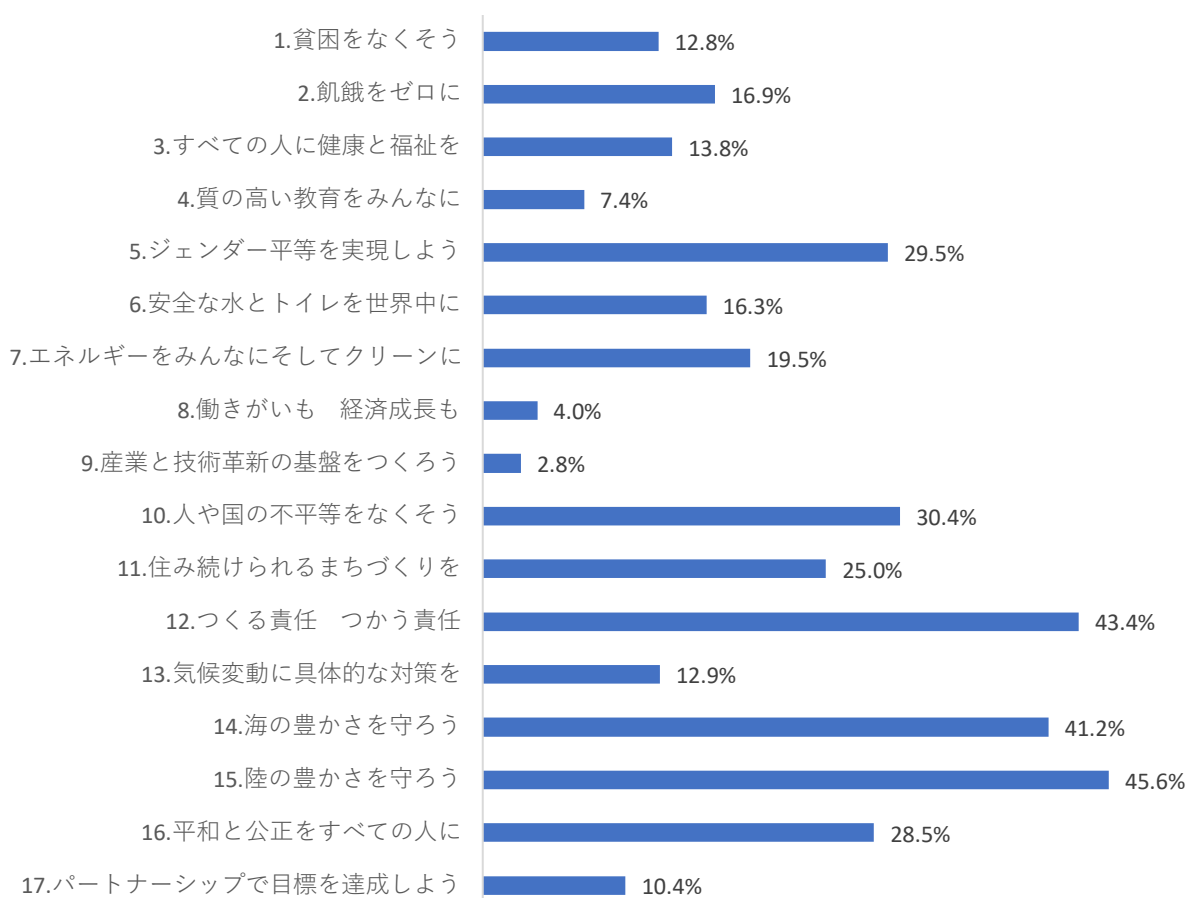
Q 3

「知っている」、「少し知っている」と答えた人にお聞きします。どこでSDG sについて知りましたか？（あてはまるものをすべてチェックしてください）
（複数回答可）



Q 4

SDG sとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。下の目標の中で、あなたが日頃取り組んでいると思う目標はどれですか？
（複数回答可）

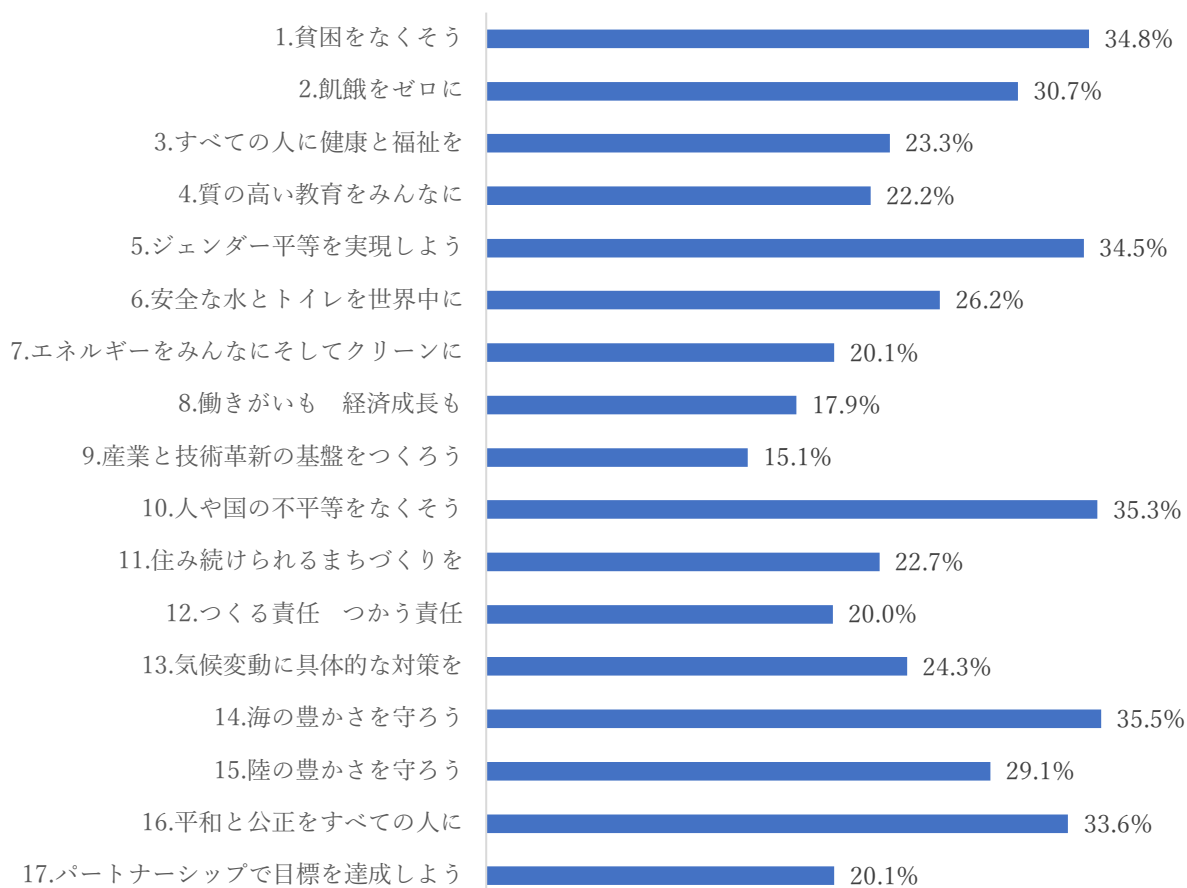


Q 5 上の質問で、取り組んでいるものがあつた人にお聞きします。具体的にどんなことに取り組んでいますか。（回答数 4,323 件）

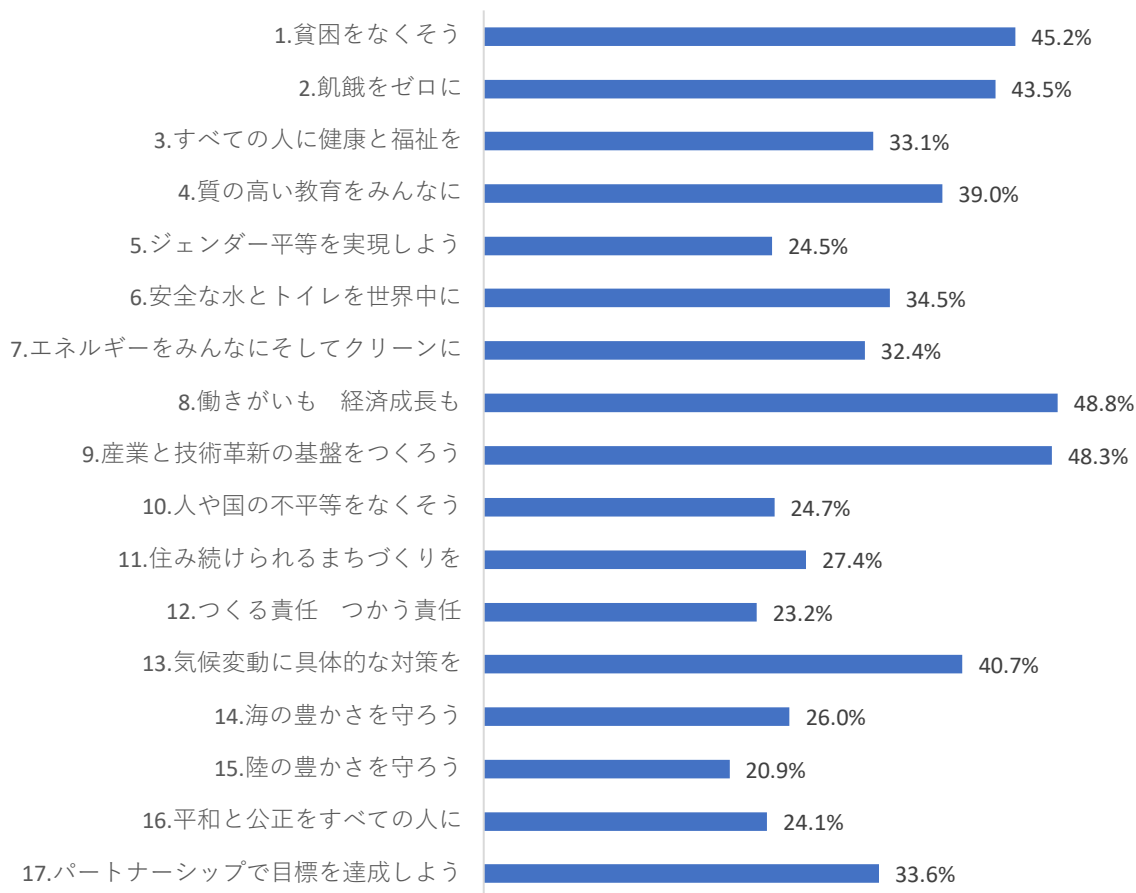
[主な回答]

エアコンの設定温度に気をつける、 エコバックを使う、 エネルギーの節約
 ゴミの分別・削減、 ご飯を残さない、 ポイ捨てをしない、 ジェンダー平等に気をつける
 プラスチック製品を使わないようにする、 リサイクルする、 ものを大切に使う
 いらないものを買わない、 差別をしない、 いじめをしない、 募金する

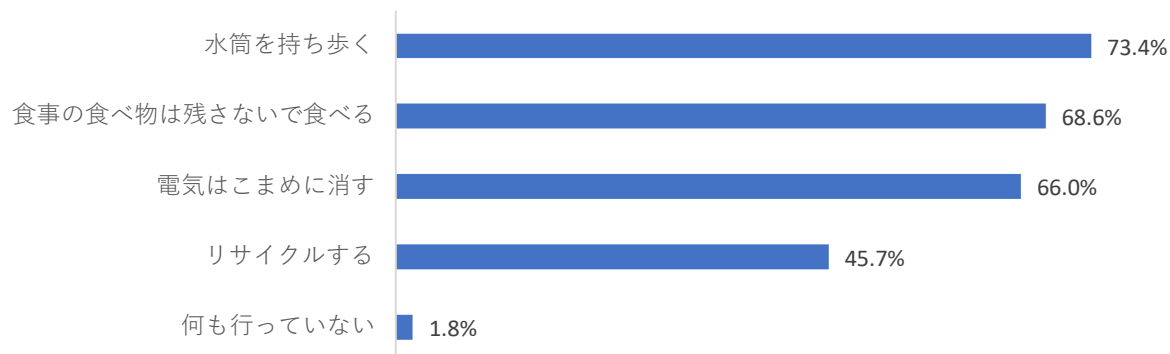
Q 6 17 の目標の中で、あなたが特に気になるものはありますか。当てはまるものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）



Q 7 SDG s とは「人が地球で暮らし続けていくために、2030 年までにたどり着く 17 の目標」のことです。下の目標の中で、あなたが日頃取り組めていないと思う目標はどれですか？当てはまるものにチェックをして下さい。（複数回答可）



Q 8 SDG s 17 の目標達成のために、あなたが行っている行動として該当するものは次のうちどれですか。該当する項目にチェックをしてください。（複数回答可）

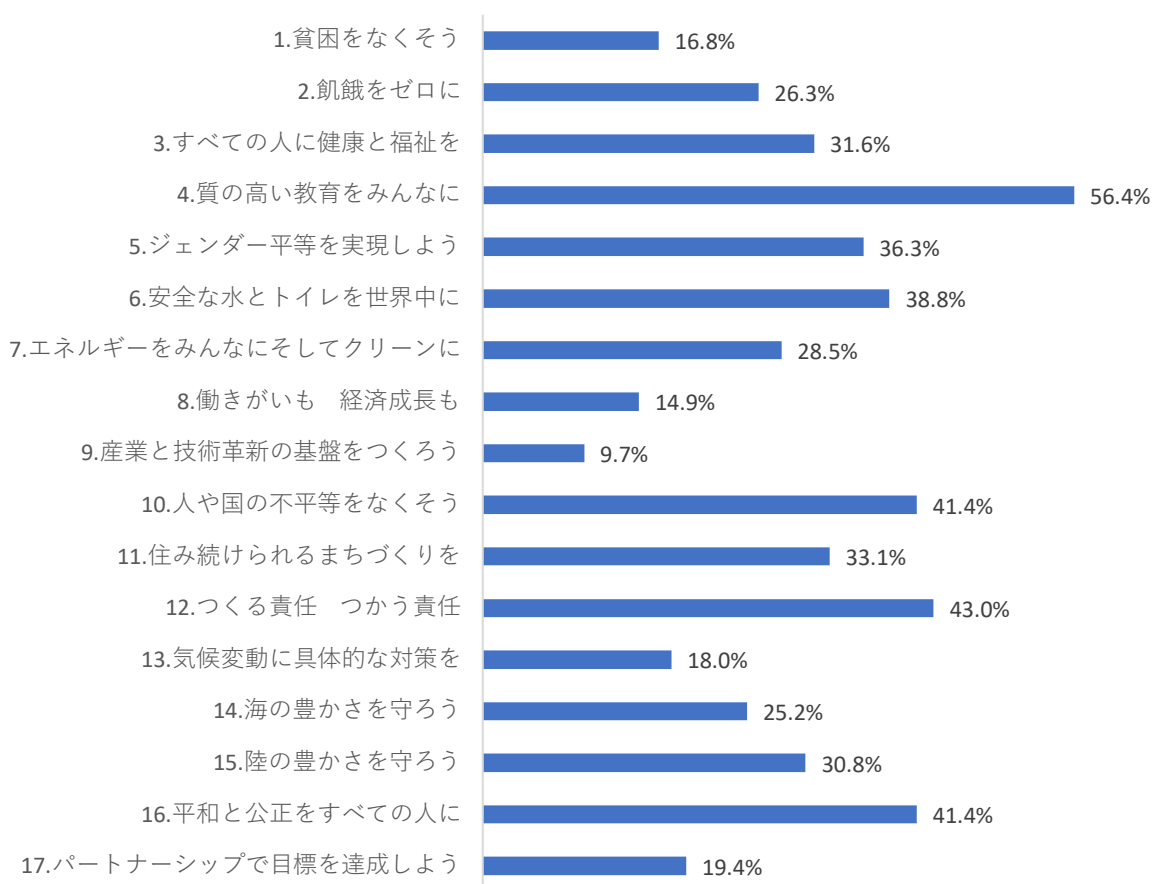


Q 9 上の質問で、「何も行っていない」と答えた方にお聞きします。何もしない理由と今後行いたいことがあれば書いて下さい。（回答数 91 件）

[主な回答]

わからない、 めんどく、 忘れてしまう、しても変わらない、今のままでいい
危機感を感じない、 私がやらなくても、 やりたくない、 する意味がわからない
理由はない

Q 10 17 の目標の中で学校生活や日常生活と特につながっているのはどれだと思いますか。当てはまるものにチェックをしてください。（複数回答可）



Q 11

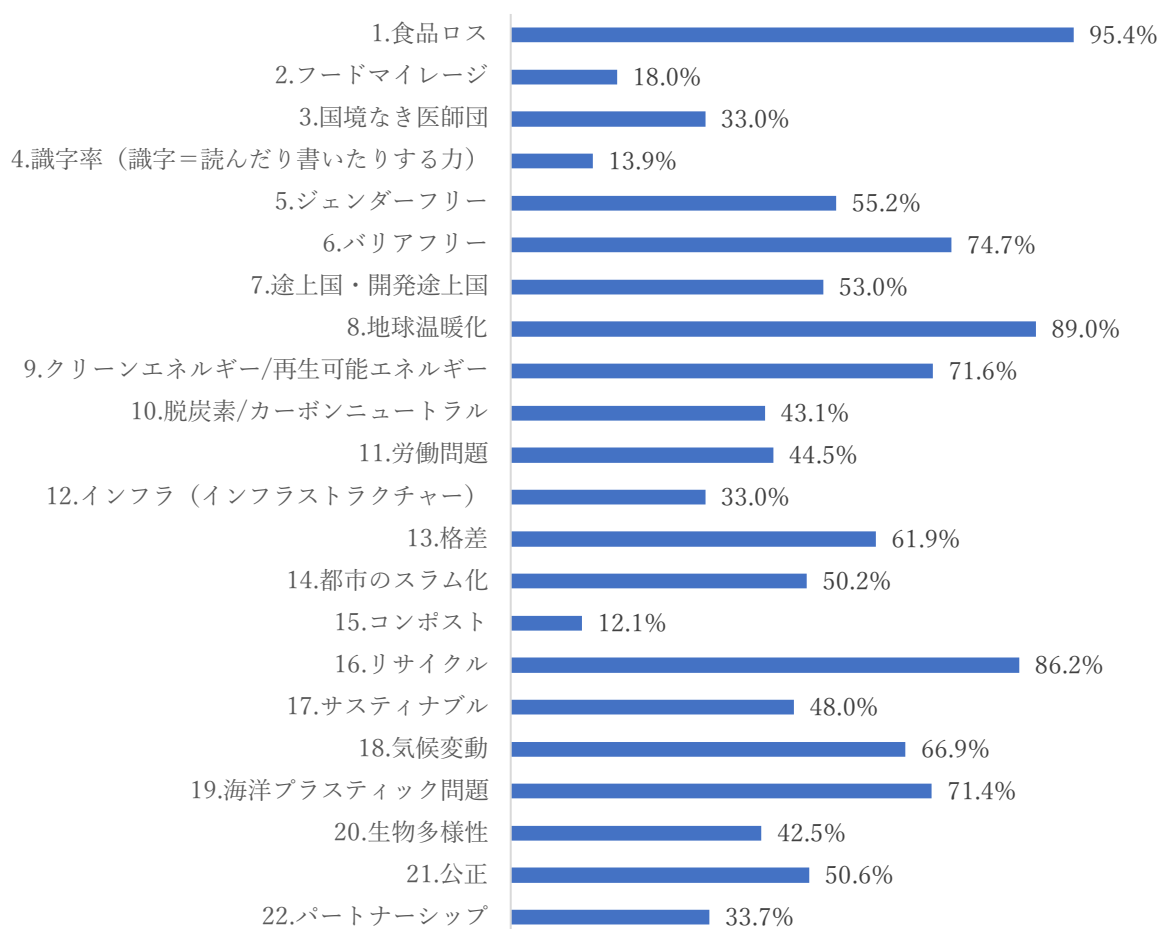
上の質問で、選んだ目標とどんな点がつながっていると思いますか。またその理由は何ですか。（回答数 3,116 件）

[主な回答]

- ・義務教育のおかげで学校で教育を受けられているから
- ・いじめや差別をなくそうとすることは人や国の不平等をなくすことにつながると思うから
- ・食べ物を残さずに食べれば飢餓をなくすことができると思うから
- ・安全な水とトイレは毎日使うものだから
- ・電気をこまめに消したりエアコンを使いすぎないようにすればエネルギーを節約できて地球温暖化対策に貢献できると思うから
- ・買ったものを最後まで使う、リサイクル活動をする
- ・質の高い教育をすることで将来の経済発展に繋がると思う
- ・ポイ捨てをしなければ海や陸の豊かさを守れると思う
- ・授業や生活で色々な人と関わることが公正などにつながると思うから
- ・クラスみんなで力を合わせて目標を達成するから

Q 12

次の言葉はSDGsに関する言葉です。知っているものにチェックをして下さい。（複数回答可）

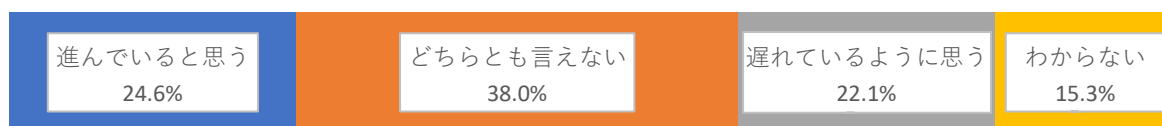


Q 13 上の質問にあった言葉のほかに、SDG s に関係すると思う言葉であなたが知っている言葉があれば書いてください。（回答数 1,024 件）

[主な回答]

3 R、CO₂削減、LGBTQ、いじめゼロ、エコバック、エシカル、オゾン層破壊
バイオ燃料、フェアトレード、マイクロプラスチック、ユニセフ、海面上昇
海洋汚染、環境破壊、省エネ、森林伐採、人権・人種差別、貧困、少子高齢化
節電・節水、大気汚染、電気自動車

Q 14 日本のSDG s の取組みは世界の中で進んでいると思いますか。



Q 15 上の質問であなたがそのように思った理由を書いて下さい。（回答数 4,179 件）

[主な回答]

進んでいると思う理由：テレビなどでSDG s の報道等をよく見る、エコバッグやマイボトル・紙ストロー等が普及してきた、リサイクルが進んでいる
SDG s を意識づける活動が増えた

遅れていると思う理由：SDG s についての報道等をあまり見ない、食品ロスが多い
ジェンダーへの理解が遅れている、ゴミが減らない
火力発電が多い

わからない理由：外国と比べて進み具合が不明、SDG s についてよく知らない
興味がない、できているものとできていないものがあると思う

- Q 16** 今の地球の住みやすさは4段階のうちのどのくらいだと思いますか。
(1は「住みにくい」、4は「住みやすい」)



- Q 17** 未来の地球の住みやすさは4段階のうちのどのくらいだと思いますか。
(1は「住みにくい」、4は「住みやすい」)



- Q 18** 未来の地球の住みやすさについて、あなたが上の答のように思う理由を書いて下さい。
(回答数 4,251 件)

[主な回答]

住みにくい理由：地球温暖化が進む、災害や異常気象が多くなる、環境問題が進む
資源や食料が不足する、格差が広がる、物価・税金が高くなる
人口増加・少子高齢化、ゴミが増える、戦争がなくなる

住みやすい理由：科学技術が発達する、AIが進化して生活が便利になる
SDGsの目標が達成される、再生可能エネルギーが活用される
世界中が環境問題を解決しようとしている

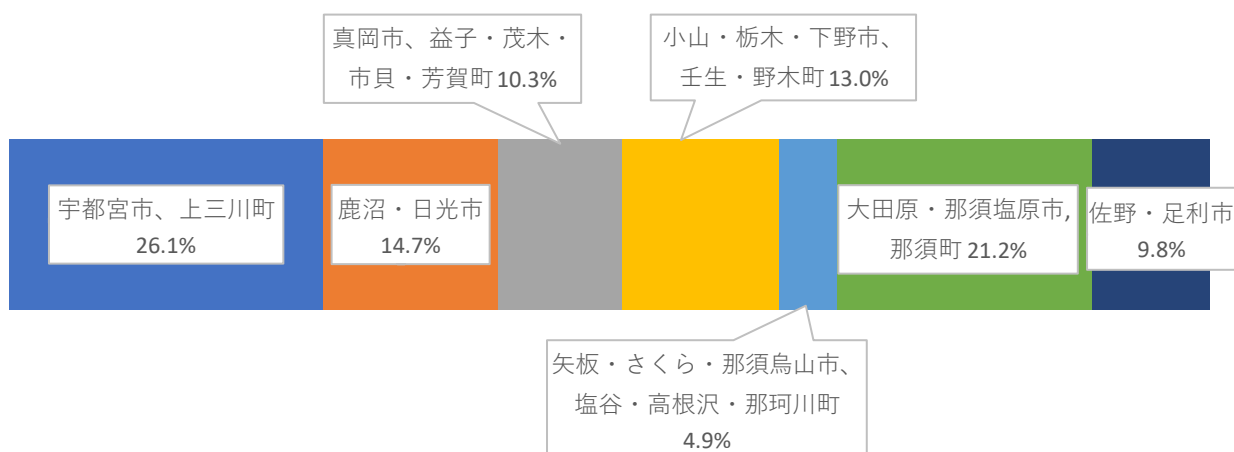
- Q 19** SDGsに取り組むことで、地球の未来はどうなると思いますか。



中学校教員 回答

回答教員数 184 名

Q 1 お勤めの学校はどこですか。



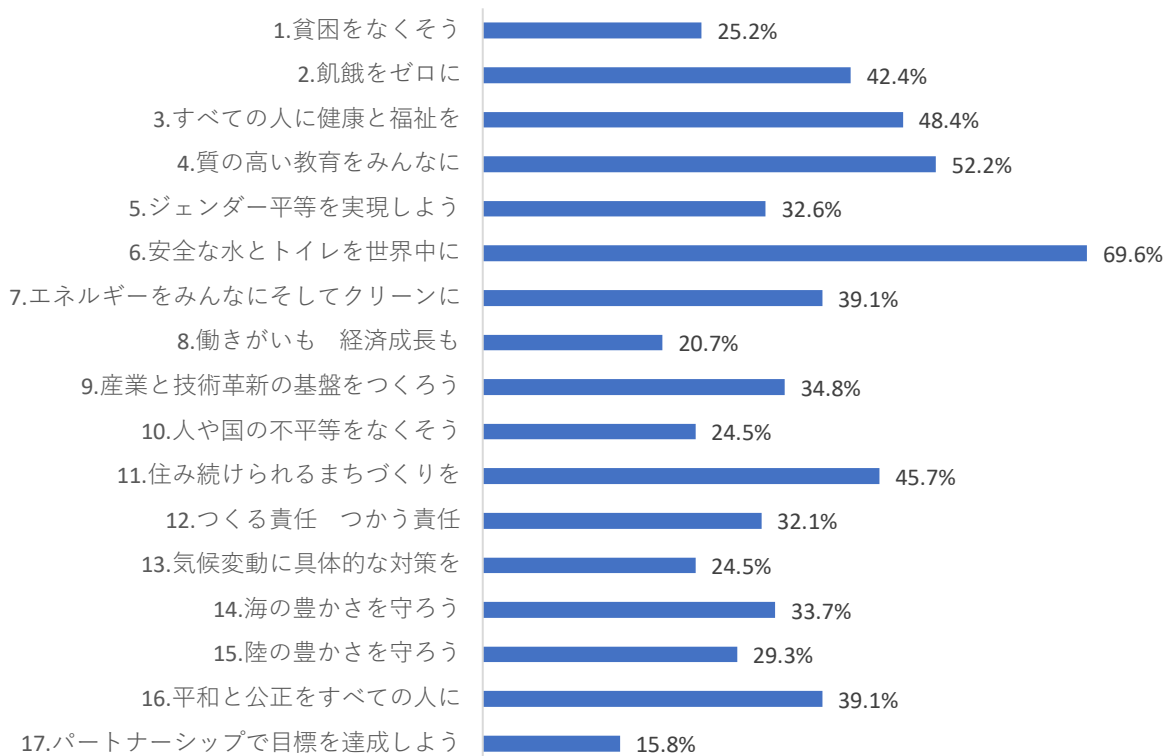
Q 2 SDG s についてどれくらいご存知ですか。



資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

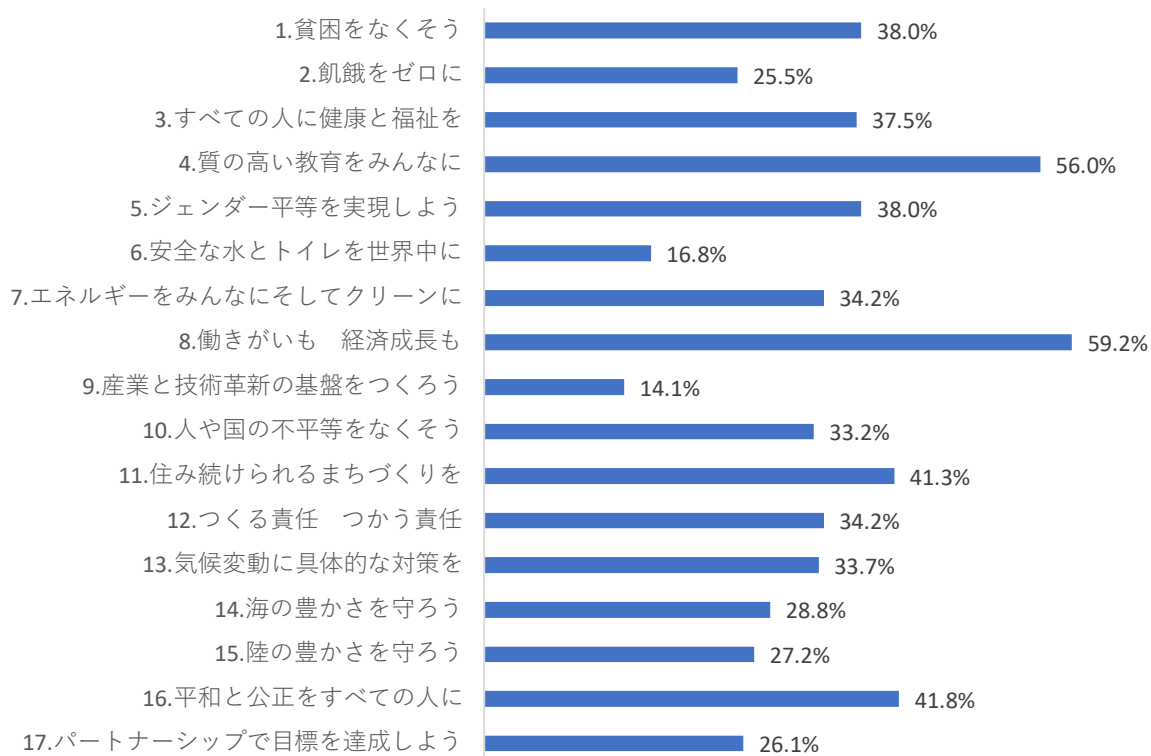
Q 3

SDGsとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。下の目標の中で、日本が日頃取り組んでいると思うものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）



資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

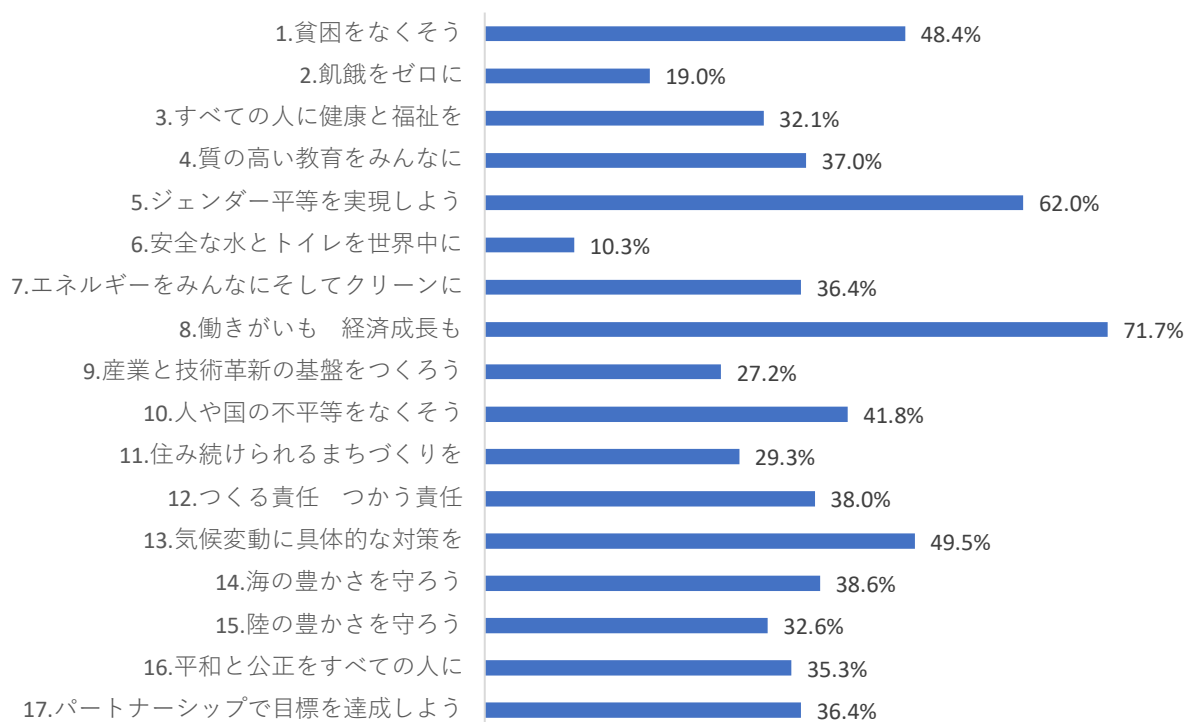
Q 4 SDG s とは「人が地球で暮らし続けていくために、2030 年までにたどり着く 17 の目標」のことです。次の目標の中で特に気になるものものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）



資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

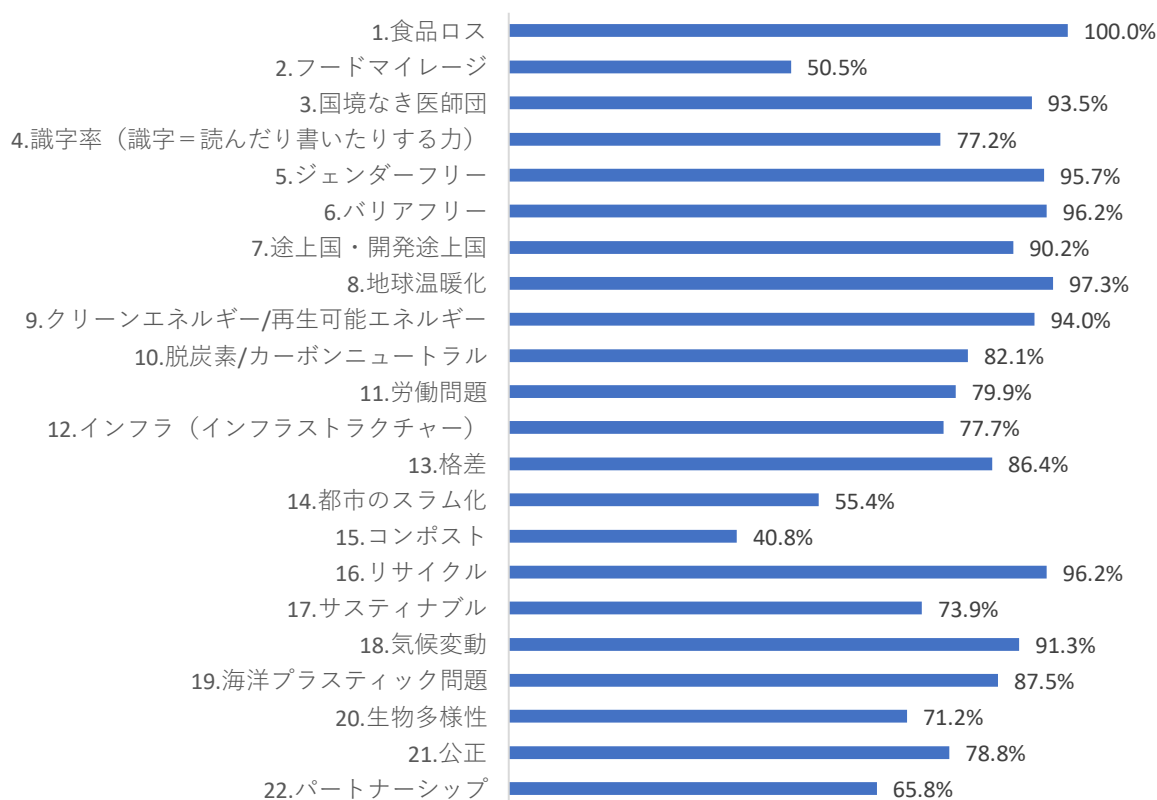
Q 5

SDGsとは「人が地球で暮らし続けていくために、2030年までにたどり着く17の目標」のことです。下の目標の中で、日本が達成できていないと思うものすべてにチェックをして下さい。（複数回答可）

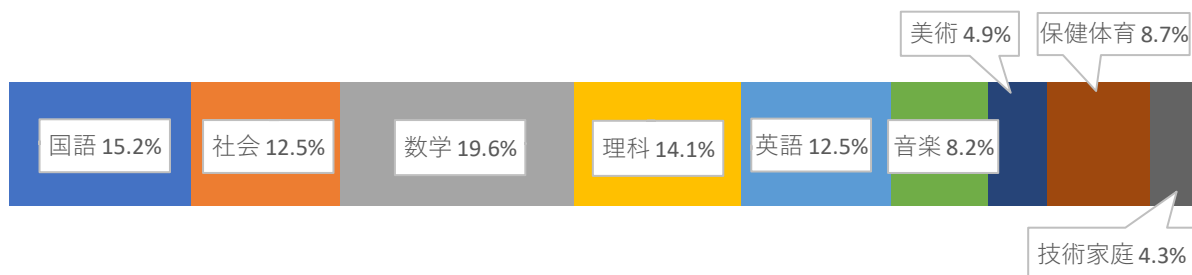


資料データ編【中学校（児童・教員・学校）】

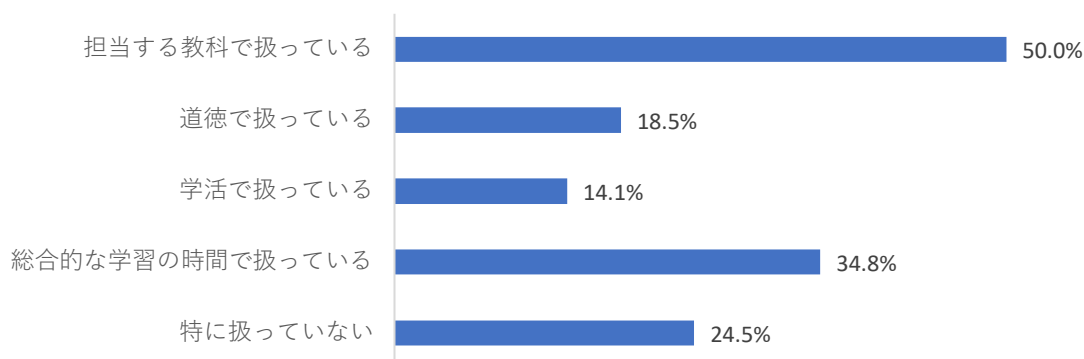
Q 6 次の言葉はSDGsに関する言葉です。ご存知のものをすべてチェックして下さい。（複数回答可）



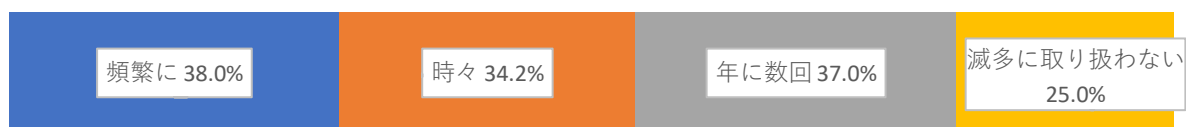
Q 7 担当教科をご回答ください。複数の場合、主なものにチェックして下さい。



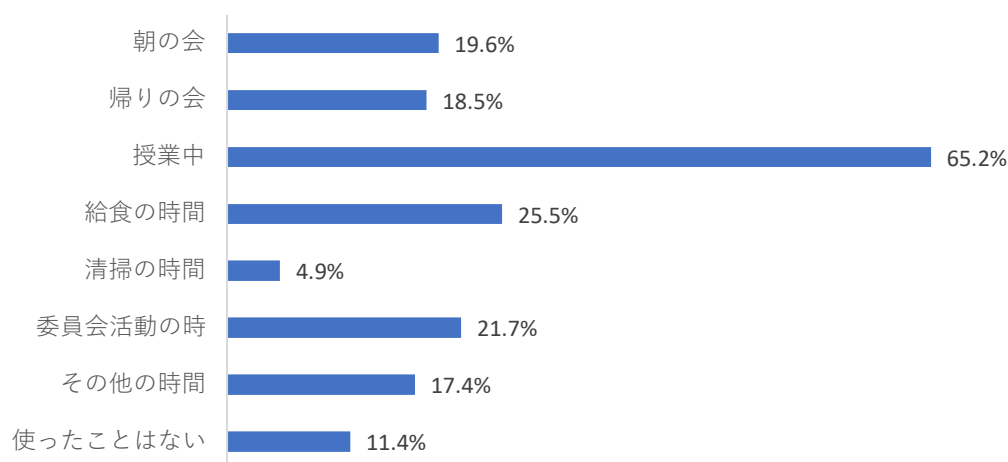
Q 8 SDGsを授業で扱っていますか。（複数回答可）



Q 9 SDG s を授業で扱う頻度はどれくらいですか。



Q 10 学校で生徒たちに「SDG s」という言葉を意図的に使ったことはありますか。それは、学校生活の中のどのような場面ですか。（複数回答可）



Q 11 これまでに行ったSDG sを取入れた授業や活動がありましたら、授業名や活動名、そのねらいやポイントを教えてください。（回答数 99 件）

[主な回答]

社会：公民の授業で扱った回答が多数。 国際社会が抱える課題、再生可能エネルギー、貧困等に関する内容、 持続可能な社会についてレポートにまとめて発表

理科：再生可能エネルギーや持続可能な社会を考えさせる内容、自然のもたらす恵みと災害について学ぶ内容、物質分野の実験においてマイクロスケール実験にすることで廃液を減らし環境を考える内容

道徳：医師の国際活動について学ぶ

英語：教科書でSDG sを扱う題材があるので関連ニュースとともに学ぶ、 SDG sの説明を英語で行いポスターを作成

総合的な学習の時間：地域についての探究活動、 SDG sについて調べることで解決への意欲をもたせる内容、 タブレットのスキル学習の題材としてSDG sを取り入れた、国際教育やユニセフや JICA について学ぶ、

給食の時間：残飯をゼロにする働きかけ、フードロスについて考える

その他：修学旅行、 足尾植樹、 中学生でできるSDG sについて学校祭で発表、 自分の住んでいる地域を知る学習、 校外学習や委員会で資源ゴミ回収活動、 学校行事でペットボトルキャップアート、 SDG s すごろく

Q 12

上記の授業や活動を行って、生徒のSDGsに対する意識や理解で感じたことを教えてください。（回答数 94 件）

[主な回答]

身近な問題と捉えることができた、 身近な問題と捉えることに悩んでいる
理解は深まるが実践まではいかない、 小学校の学習が基礎になっている
理解が浅い、 他教科との連携が図れた、 時間をかければ理解は深まる
調べるだけで終わってしまう、 家庭における生徒の変容は見られない
「持続可能」という言葉が聞かれる

Q 13

学校でSDGsを指導するためにはどんなことが必要だと思いますか。（回答数 119 件）

[主な回答]

- ・教員自身の理解の深まりとそのための時間
- ・事項以外の取り組み・授業指導案・実践例の提示
- ・リサイクルなどの日常の中での活動実践
- ・学校全体の教育計画や教科横断の取り組み
- ・教材や教育機器の整備、地域の企業等との連携

Q 14

今後、SDGsをどのように取り上げ、どのように深めさせていきたいか、お考えをお書きください。（回答数 104 件）

[主な回答]

- ・現場の改革（教えることが増えるのに予算や人員が不足、スクラップ&ビルド）
- ・カリキュラムマネジメントに位置付けること
- ・自分自身の力量を高めたい（ICTの使い方も）
- ・生徒に自分事としてとらえさせたい
- ・進路指導につながるものにしたい
- ・教材と教材研究にかけられる時間の不足
- ・世界的に取り組まなければならない

Q 15

SDGsに関することで何かご意見があればご記入ください。（回答数 35 件）

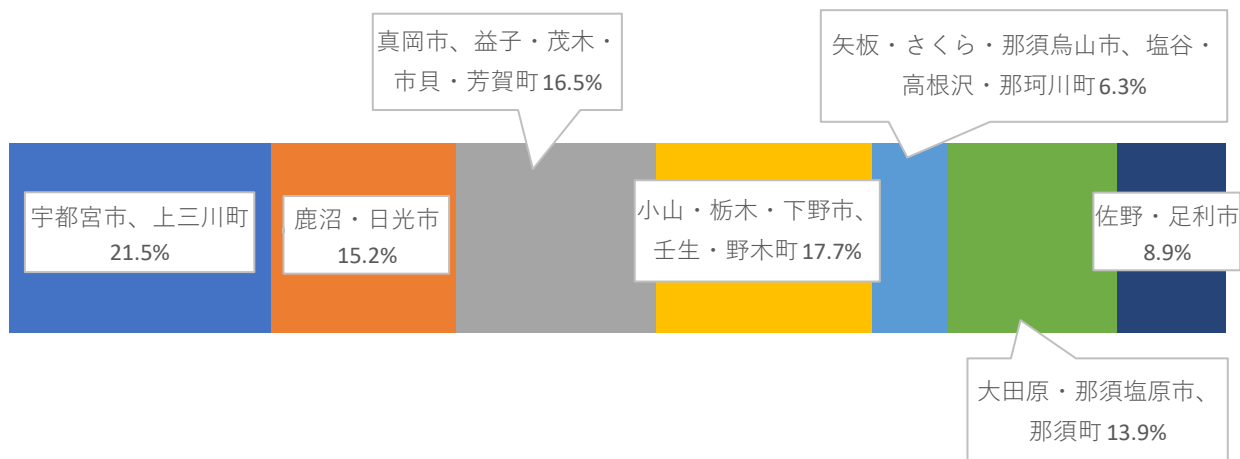
[主な回答]

- ・働き方改革を優先すべき
- ・教材研究をする時間が必要
- ・社会が、相反する様々な考えを認めている状況下で指導は難しい
- ・教育にも地域差がある
- ・うわべだけの教育にならないようしたい
- ・SDGsの取り組みには外国との差を感じる（日本の方が努力している）
- ・教員自身の理解度や本気度がまだのようだ
- ・他校の様子を知りたい
- ・研修が必要

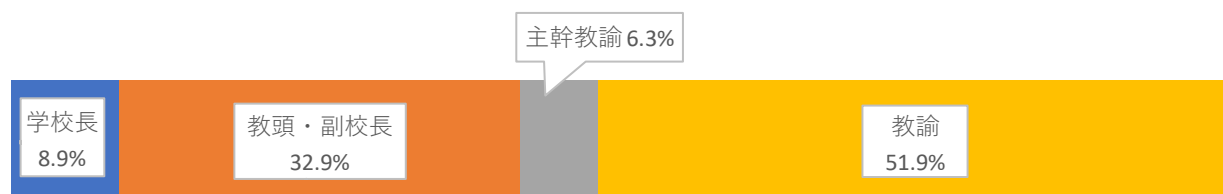
中学校 学校 回答

回答学校数 79 校

Q 1 御校のある地区はどこですか。



Q 2 このアンケートにご回答いただいている方の、職名をお答え下さい。



Q 3 このアンケートにご回答いただいている方の勤務年数をお答え下さい。



Q 4 御校ではSDG sに関する指導について、校務分掌に位置付けられていますか。



Q 5 上の3の質問で「位置づけられている」と回答いただいた学校にお聞きします。
位置付けられている分掌名をお書き下さい。

[主な回答]

環境教育（SDG s）、国際理解（SDG s）、人権教育、福祉教育、生徒指導、
SDG sプロジェクトチーム、環境教育（SDG s推進）、地域連携教員、
福祉担当、SDG s推進担当、研究主任、ESD
総合的な学習の時間、生徒会

Q 6 SDG sと学校行事を関連させた取り組みを行っていますか。



Q 7 上の6の質問に、「行っている」と回答された学校にお聞きします。それはどのような取り組みですか。行事名などでお答え下さい。（回答数39校）

[主な回答]

資源物・リサイクル回収、総合的な学習の時間、修学旅行・遠足
学校祭・体育祭、生徒会活動、地域ボランティア活動、学習発表会

Q 8 SDG sに関する内容を取り扱う場合、学校として困難な点があったらお書き下さい。
（回答数37校）

[主な回答] 回答数37校

- ・準備時間が足りない
- ・カリキュラムの位置付けがない
- ・見学先・研修先がない
- ・自分事として受け止める工夫
- ・教科の偏りがある
- ・リサイクル品の送料や手数料がかかる
- ・17の目標が広すぎる、資料や理解の不足
- ・研究モデル校で時間がない
- ・既存の活動との両立
- ・深まりが難しい
- ・理論は容易でも実践が難しい
- ・特になし

Q 9 SDG s に関する内容を扱ったことがある場合、学校としてよかった点はどんなところかお書き下さい。(回答数 43 校)

[主な回答]

- ・生徒の変容（態度・考え方・視野・意識）
- ・世界の課題が身近になった
- ・地域への意識の変化
- ・身の回りから始めるようになった
- ・先生方の意識が変わった
- ・環境への意識の変化
- ・持続可能の視点を持った
- ・ジェンダーに悩む生徒の助けになった
- ・特になし

Q 10 SDG s の指導に関する取り組みについて、上の回答以外にご意見がありましたら、お書き下さい。(回答数 30 校)

[主な回答]

- ・活動事例を提示してほしい
- ・発達段階に応じた指導を示してほしい
- ・指導案はあるが公的で体系的なものがない
- ・国民への啓発活動が望ましい
- ・教員の負担を増やさず行うことが必須
- ・ポイントを絞って取り組む
- ・取り組みやすい教科がある
- ・教科が限定されてしまう
- ・教員の研修が必要
- ・特になし